

2024(令和6)年5月23日
福山市立日吉台小学校
6年学年通信 No.7

体育発表会に向けて

5月24日(金)の体育発表会に向けて、5月15日(水)から練習を始めました。今年は、小学校で最後の体育発表会ということもあり、今までよりもさらに真剣に練習に臨んでいます。体育発表会では、「おうちの人に頑張っている姿を見てもらいたい。」「みんなの手本になるような動きをしたい。」「自分の役割をしっかりと果たし、人のためになる行動をしたい。」など、様々な想いをもっています。頑張ってきた姿を見て下さい。

また、係の仕事もあります。決勝(決勝テープを持つ・等級旗の移動・走り終わった児童を順番に並ばせる)、準備(準備物の出し入れ・ライン引き)、児童(テント内の児童への声かけ・応援の盛り上げ)、放送(競技の紹介・入退場や競技中の音楽をかける)の4つにわかれて、体育発表会を運営する仕事をします。自分の役割に責任をもって活動しながら、他学年の応援もします。みんなのために、活躍している姿にも注目して下さい。

頑張ること

有村 利愛

私が体育発表会で頑張ることは、二つあります。一つ目は、五年生と一緒にする団体演技「意旗揚々」です。旗を動かしながら移動する所で、隣の人や前の人も動きを合わせることを頑張りたいです。そして、間違えずに、笑顔で踊り続けたいです。二つ目は、リレーです。バトンを相手に渡すとき、手にちゃんと置いたり、一生懸命本気で走ったりすることを頑張りたいです。リレーは、特に練習する回数が少ないので、大休憩や昼休憩などに、いっぱい練習して本番に挑もうと思います。小学生最後の体育発表会で、自分の出せる力をすべて出し切りしたいです。

一番良い結果を

南谷 清翔

金曜日に、体育発表会がある。僕達六年生は、一年生と「玉入れ」、五年生と「旗」、そして「リレー」に出る。その他にも、僕は、元気委員会の仕事で準備体操を朝礼台の上でする。僕が一番気をつけていることは、リレーのバトンパスだ。渡すときは、きちんと手元に渡さなければならぬ。受け取る時は、いつ走り始めるか相手の足の速さを考えてタイミングをつかまなければならぬ。だから、僕たちのチームは、大休憩や昼休憩に練習をした。練習した後の体育の時間のリレーでは、みんなバトンパスを上手にすることができ、見事一位になることができた。本番の体育発表会でも、この勢いのまま行い、体育発表会史上一番の良い結果にしたい。

体育発表会に向けて

千原 彪雅

僕は、体育発表会で頑張りたいことは、旗と玉入れです。旗では、みんなと息を合わせることを頑張ります。そのため、動きの順番を覚えます。また、旗を振った時の「マサツ」という音をしっかりと出し、みんなと音がそろおうようにします。玉入れは、勝つことを目標にするのではなく、楽しむことを目標にして頑張ります。そのため、早く準備をして動くことができるようにします。また、一緒に玉入れをする一年生を笑顔にすることができると、玉渡しや動く前の声掛けをして、手助けしたいです。

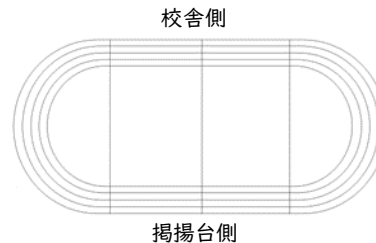
僕が一生懸命頑張ること、人任せにせず、自分から行動することができると思います。本番で力をすべて出すことができるように頑張ります。

体育発表会プログラム！

～ぼく・わたしは、()色～

◎プログラム10番「全力で、一歩前へ」
()色の()番目に走ります。スタートは、(掲揚台側・校舎側)です。

赤白のチームをさらに2つに分け、4チーム対抗でリレーを行います。チーム全員で、6周走ります。一人半周が基本ですが、半周だと6周に少し足りません。足りない分は、チームで話し合い、足りないところを誰が走るか決めました。また、走る順番も練習の様子から順番を変えたり、自分たちのチームに必要な練習を考えたりして、練習をしました。一人一人が全力で走り、バトンをつなぎます。



◎プログラム7番「1・6コンビのなかよし玉入れ☆」

1年生と一緒に「玉入れ」をする団体競技です。最初は、1年生だけが玉入れをします。そして、20秒たったら、6年生も参戦します。6年生は、指定された場所から玉を入れます。1年生と関わる活動を通して、異学年と楽しく触れ合ったり、協力して活動に取り組んだりすることをねらいとしています。6年生は、1年生に玉を渡したり、1年生の動きをリードしたりしています。

東側 2組
西側 1組



○プログラム12番「意旗揚々」

5年生と一緒に旗を使って演技をします。6年生は、赤色の旗をもっています。

この演技では、周りを見て、みんなと合わせる力をつけることができます。1人で踊るのではなく、全員で揃えることで、演技がよりよいものになっていくことを、練習を通して実感してくれていると思います。

自分が学年の一員、高学年の一員として頑張っていくという意欲をもち、これからの活動につなげていくことを期待しています。

